

# PDCAサイクルの構築体制について

記載の有無 **あり**

※「あり」とするとデータ抽出の対象となります。記載する内容がない場合は「なし」としてください。「なし」の場合は以下について記入の必要はありません。

病院名: **独立行政法人国立病院機構東京医療センター**

平成29年9月1日現在

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、地域に対して行っている情報提供を記載してください。

- ①院内の見やすい場所に掲示している **はい** (はい/いいえ)
- ②院内誌、チラシ等で広報している **いいえ** (はい/いいえ)
- ③ホームページに掲載している **はい** (はい/いいえ)
- ④ホームページに掲載している場合、該当するページのアドレスを記載してください

**http://www.ntmc.go.jp/p\_guide/contents/322.html**

- ⑤地域の広報誌等で広報している **いいえ** (はい/いいえ)
- ⑥その他の方法で掲載している **いいえ** (はい/いいえ)
- ⑦その他の方法がある場合、内容を記載してください

■自施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について、必要に応じて図表などを活用し、具体的に記載すること。

PDCAを使って改善することを想定している課題(いくつでも可)

例)	課題の内容	目標	目標達成の検証方法(データ源)
	患者満足度の向上	退院患者の80%が入院治療環境に満足する	3か月おきに日を設定して患者アンケートを行う。
1	がん患者の精神的・身体的苦痛に関するスクリーニングシート(生活のしやすさに関する質問票)の普及	入院あるいは外来通院中のがん患者の80%以上がスクリーニングシートを利用する。	がん患者のうち、スクリーニングシートを利用した患者の割合を毎月集計する。
2	がん化学療法看護アセスメントシートの普及	通院治療センターで化学療法を受ける患者の90%以上が利用する。	通院治療センターで化学療法をうけた患者数とアセスメントシート利用患者数を毎月集計する。
3	在宅療養を希望するががん患者に対する支援の質の向上	最期の療養の場として自宅を希望されている患者の70%以上が最終的には在宅療養を受けられる。	最期の療養の場として自宅を希望された患者が在宅療養に移行できているか毎月確認する。
4			
5			

上記の目標に向けた活動計画の予定(未定の場合には、未定と記入)

1	別添のPDCAサイクルに沿って行動する。評価・改善検討会を毎月開催し、集計データ、問題点に対する認識を共有し改善案を立案する。逐次、院長・副院長を含む幹部会に報告する。
2	
3	
4	
5	

このシートに貼付することが難しい場合、**ファイル名の頭に別紙46を付けた**電子ファイル、別添資料を提出すること。

- 別添資料の提出有無 **あり** (あり/なし)
- ファイル形式 **PDF** (ワード/太郎/リッチテキスト/エクセル/パワーポイント/PDF/その他)
- その他の場合ファイル形式を記載してください。